

環境破壊、安全、人体への影響、採算性、電力 リニアの問題は未解決だ！

JR総連「リニア中央新幹線建設における問題点」報告集会

JR総連主催の「リニア中央新幹線建設における問題点」報告集会が10月29日、参議院議員会館で開催されました。集会には、多くの衆参両国会議員や秘書などが参加されました。

主催者を代表してJR総連萩原副委員長は「東海道新幹線は開業50年を迎えた。今や全国に高速鉄道網が整備されてきている。しかし、リニアは互換性のない鉄道である。環境破壊、人体への影響、エネルギーなど問題が山積している。特に、山田前社長が『リニアはペイしない』見解は、民間会社としてはあり得ない」と挨拶しました。

続いて、JR東海労本部より高山教宣部長が、①環境破壊、②安全問題、③人体への影響、④採算性・経営問題、⑤リニアの消費電力と原発との関連についてプレゼンテーションを行いました。

参加された議員からは「今までリニアができれば便利になって良いものだと思っていたが、こんなに問題があるとは知らなかった」などの感想が出されました。



JR総連萩原副委員長の主催者挨拶



プレゼンテーションの様子



多くの参加者で埋め尽くした会場



意見を述べる増子参議院議員